

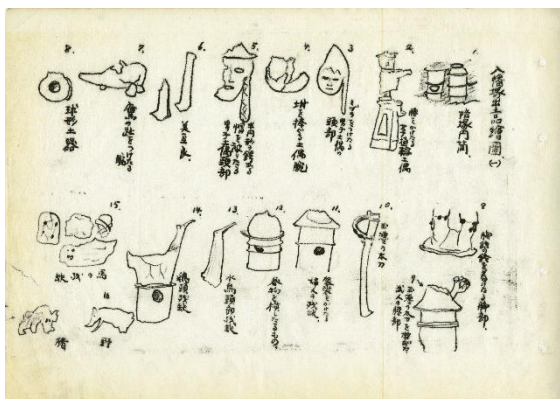
令和7年度 テーマ展示2

「昭和の軌跡—文書が語る群馬—」

令和8年（2026年）は、昭和元年から100年の節目に当たります。昭和の時代には、戦争や復興、高度経済成長を経て、群馬の県行政や地域社会、私たちの暮らしも大きく変化しました。その歩みは、当館所蔵の行政文書や写真、新聞などの歴史資料に記録されています。本展示では、これらの資料を手がかりに、群馬の昭和史を紹介します。

主な展示資料

- ・令和8年1月30日に群馬県登録文化財として答申された『古墳調査台帳』から、保渡田八幡塚古墳（国指定史跡）に関する資料
- ・県行政の動きを伝える『群馬県行政文書』（国指定重要文化財）
- ・群馬県登録文化財『上毛かるた関係資料』
- ・作曲家・服部良一氏が作曲した『群馬県の歌』の自筆パート譜（ピアノ）



『古墳調査台帳』八幡塚古墳出土品絵図



『群馬県の歌』 作曲者・服部良一氏自筆楽譜

- 1 日程 令和8年2月3日（火曜日）から6月28日（日曜日）（月曜日、月末、国民の祝日を除く。）
午前9時～午後5時まで（閉館の10分前までに御入館ください）
ホームページ <https://www.pref.gunma.jp/site/monjyokan/>
- 2 会場 群馬県立文書館 1階展示室及びロビー
〒371-0801 前橋市文京町三丁目 27-26（二子山古墳の西隣）
- 3 観覧料 無 料
- 4 問合せ 電話：027-221-2346 メール：monjyo@pref.gunma.lg.jp